

令和6年度 施策事前評価シート

施策責任者 所属	地域防災課 くらし環境課		電話番号	直通	989-5505 989-5514
基本目標	絆でつながる 安心な ながいずみ				
政策	助け合い いのちを守るまちの実現		施策分野	防犯・交通安全	
施策分野 の総事業費	前年度 決算額	63,767 千円	今年度 予算額	78,738 千円	

施策の進捗状況

	成果指標名称	年度	現状値	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	単位	進捗 評価
1	年間交通事故の発生件数（年間）	目標値		230	220	210	200	200	件	D
		実績値	254	203	171	216				
2	年間刑法犯認知件数（年間）	目標値		215	210	205	200	200	件	C
		実績値	224	142	143	189				
3		目標値								
		実績値								
4		目標値								
		実績値								
					総合評価		C：進捗が思わしくない			

事前分析

施策分野における これまでの 取り組みの概要	地区安全会議への支援、防犯カメラの維持管理や防犯灯の整備、交通・防犯啓発活動の実施、交通指導員会への支援、交通安全施設の整備、自転車駐車場の管理（下土狩駅・長泉なめり駅）くらし環境課内に消費生活相談員を配置し、消費生活相談窓口を設置（平成30年度）、迷惑電話への警戒心や防衛心を高めることを目的に高齢者等を対象にした迷惑電話非着信装置設置事業・AIを活用した特殊詐欺対策電話機等設置支援事業の実施
施策分野における 背景・環境 及び抱えている課題	・町内では高齢者による事故が増加傾向にあり、高齢者の事故防止など継続した交通安全対策の強化が必要である。 ・刑法犯認知件は増加傾向にあるため、防犯活動団体への支援など継続した防犯対策の強化が必要である。 ・相談者の多くは70歳代であり、相談内容は、通信販売や訪問販売に係る内容が多い。スマートフォンの普及等により、長泉町迷惑電話非着信装置設置事業は減少傾向となっている。 ・成果指標1は年々減少傾向にあった中で町内の大きな幹線道路の整備開通に伴い幹線道路から生活道路への進入車両等の事故が増加しており、ハード面の整備に伴い想定外の事故が発生していることから、後退「E」評価ではなく、進捗していない「D」評価とした。
施策分野における 改革・改善内容 及び今後の見通し	・交通安全対策を強化するため、高齢ドライバーによる交通事故防止を目的に実施している高齢者安全運転装置設置事業費補助を継続し、高齢者が所有する自動車への安全運転装置設置を推進していく。令和5年度には道路反射鏡やグリーンベルトの設置基準を新設したことで、交通安全意識の高揚につなげていく。 ・安全な日常生活を守るため、町が通学路等に設置した防犯カメラの適正管理に努めるほか、暗い箇所への防犯灯の設置を推進していく。 ・消費生活相談は、有資格者の配置が必要であり、多様化する相談内容に、迅速に対応するため、消費生活相談員の配置を継続していく。また、固定電話を利用した特殊詐欺は依然残っているため、特殊詐欺対策電話機等設置支援事業など、引き続き消費生活に係る周知・啓発を実施する。